

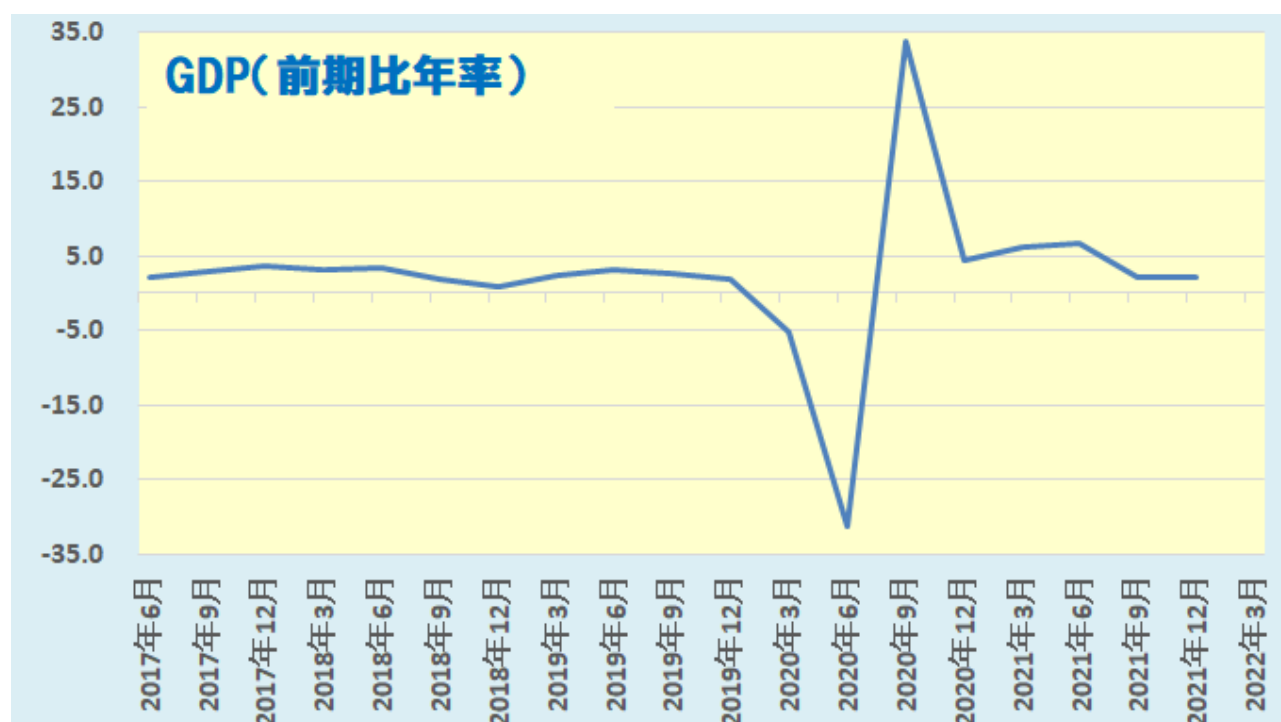
NY 市場レポート（前日 22 時 00 分～午前 6 時 30 分まで）

米国の主要な経済指標の結果

3Q GDP（前期比年率） 2.3%（予想 2.1%・前回 2.1%）

3Q 個人消費（前期比） 2.0%（予想 1.7%・前回 1.7%）

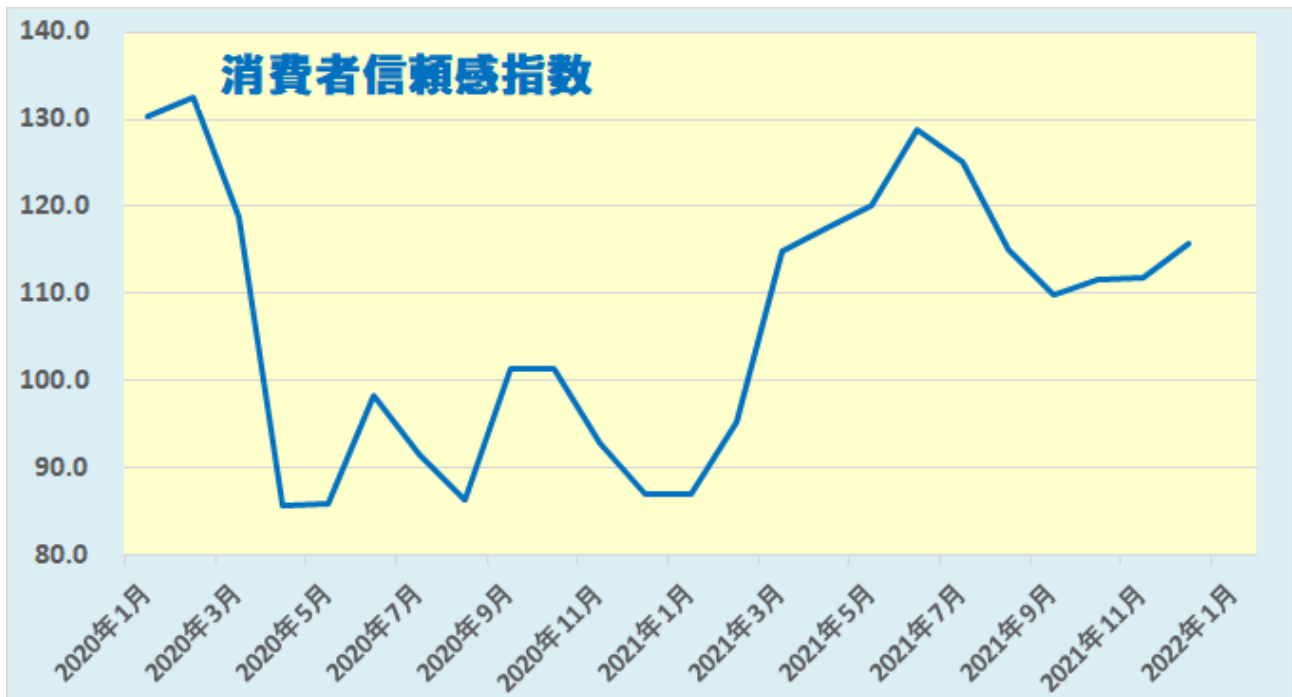
7-9 月期の米 GDP 確定値は、改定値から上方修正され、プラス成長は 5 四半期連続となった。ただ、4-6 月期の 6.7%からは伸び幅が縮小した。供給面の制約や、新型コロナウイルスの感染再拡大が消費に影響した。個人消費が 2.0%（改定値 1.7%）、サービスが 8.2%（7.6%）、設備投資が 1.7%（1.5%）と改定値から上方修正されたものの、住宅投資は-7.7%（-8.3%）と 2 期連続のマイナスとなった。



データを基に SBILM が作成

12月消費者信頼感指数 115.8 (予想 111.0・前回 109.5⇒111.9)

12月の米消費者信頼感指数は、前月から3.9ポイント上昇し、市場予想も上回った。現況指数は144.1(前月144.4)と低下したものの、向こう半年の期待指数は96.9(90.2)と上昇した。雇用では、現状で「職が豊富」との回答は55.1%(前月55.5%)、「就職が困難」は12.5%(10.8%)。向こう半年で「求職が増える」との回答は25.1%(22.8%)、「求職が減る」は14.8%(19.0%)。一方、向こう1年間のインフレ見通しは6.9%(前月7.3%)となった。

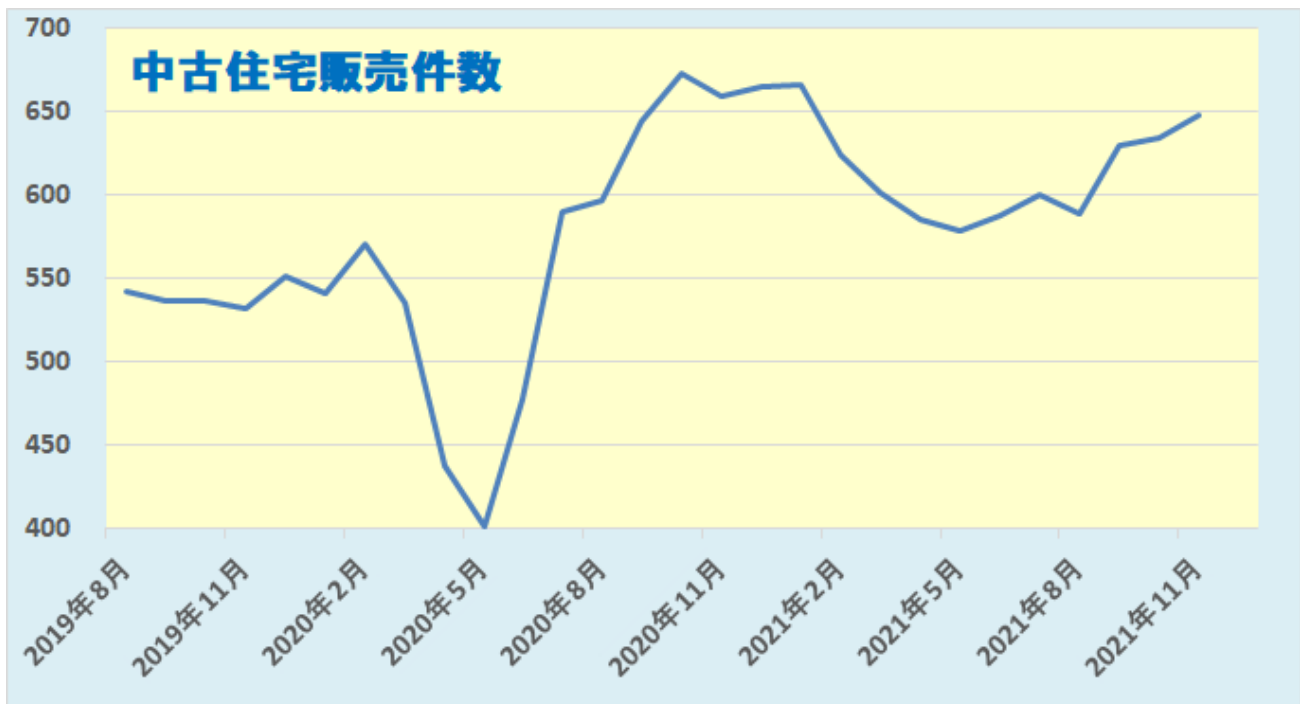


データを基に SBILM が作成

11 月中古住宅販売件数 646 万件（予想 653 万件・前回 634 万件）

11 月中古住宅販売件数（前月比） 1.9%（予想 3.0%・前回 0.8%）

11 月の米中古住宅販売件数は、3 ヶ月連続で増加となったものの、市場予想は下回った。一戸建て住宅は +1.6%の 575 万件、集合住宅も +4.4%の 71 万件となった。市場の住宅在庫は、前月比 -9.8%の 111 万件、在庫率は 2.1 ヶ月となり、前月から 0.2 ヶ月低下。成約物件の中間価格は、前年比 +13.9%の 35.4 万ドル、平均販売価格は +8.6%の 37.2 万ドルとなった。地域別では、北東部が 76 万件（前月 76 万件）と横ばいだったが、南部は 285 万件（277 万件）、西部は 133 万件（130 万件）、中西部は 152 万件（151 万件）となった。



データを基に SBILM が作成

米主要株価指数は続伸

米株式市場では、FDA（米食品医薬品局）が、米ファイザーが開発した新型コロナウイルス治療薬の使用を承認したことが好感され、主要株価指数は堅調な動きとなった。さらに、米消費者信頼感指数が改善したことも支援材料となり、主要株価指数は続伸となった。ダウ平均株価は、序盤に 59 ドル安となったものの、その後は上昇に転じて一時前日比 271 ドル高まで上昇した。高値圏を維持したまま、261.19 ドル高（+0.74%）で終了した。一方、ハイテク株中心のナスダックは、180.80 ポイント高（+1.18%）で終了した。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	テクノロジー	1.05%	1	キャタピラー	1.94%
2	ヘルスケア	0.93%	2	マイクロソフト	1.81%
3	消費財	0.91%	3	アップル	1.53%
4	資本財	0.87%	4	ユナイテッドH	1.42%
5	エネルギー	0.57%	5	ホーム・デポ	1.32%

データを基に SBILM が作成

ドル/円は 11/26 以来の高値を付けたものの、その後は失速

NY 市場では、欧州市場の流れを受けて、クロス円は序盤から堅調な動きとなった。欧州主要株価指数が上げ幅を拡大したことや、米株価先物が上昇したことが影響した。ドルは、欧州通貨や資源国通貨に対して下落が続いたこともあり、対円でも序盤から軟調な動きとなった。その後、12月の米消費者信頼感指数と11月の米中古住宅販売件数がともに前月から改善したことや、一旦低下していた米長期金利が再び上昇に転じたことを受けて、ドル/円は序盤の 114.12 から 114.37 まで上昇し、11/26 以来の高値を付けた。しかし、ロンドンフィキシングに向けてドル売り・ユーロ買いが優勢となったことや、米長期金利が低下したことから、ドル/円は終盤に 114.08 まで下落した。一方、欧州通貨や資源国通貨は、終盤までドルや円に対して底固い動きが続いた



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。